



ペットの健康診断の重要性



ペットに健康診断を受けさせる目的は、ペットの体の異変や病気を早期発見することです。

ペットたちは自分の体の異変や症状を飼い主さんに上手く伝えることができません。

そのため人以上にペットにとって健康診断は大切です。

動物は人に比べて辛抱強く、少しの症状や痛みは我慢していつも通りに振る舞ってしまうため、病気や症状が進行するまで飼主さんが気付けないということが良くあるからです。



ペットの健康診断の内容

ペットの健康診断では主に下記のような検査を行うことができます。

➤ 一般身体検査

➤ 便検査

➤ 尿検査

➤ 血球検査

➤ 血液化学検査

➤ フィラリア検査

➤ アレルギー強度検査

➤ レントゲン検査

➤ 腹部エコー検査

➤ 心電図

➤ 血圧測定

➤ 眼科検査

➤ 甲状腺機能検査(血液検査)

➤ 副腎皮質ホルモン検査(血液検査)

➤ 糖尿病検査(血液検査)

➤ 心疾患検査(血液検査)

➤ 腹部エコー検査

しかし必ず全ての検査を行うわけではなく、
飼い主さんと獣医さんが相談して、どの検査をうけさせるか決めていきます。



ペットの健康診断の頻度



基本的に1年に1回

ペットの健康診断の頻度は1歳～7・8歳の間はだいたい年に1回が目安となっています。

ペットは1年で人間の4年に当たる年齢が経過します。

必ずしもこの頻度というわけではなく、

外出時に感じるストレスや外出への拒否反応、

動物病院嫌いか否かなどの性格なども加味して

どのくらいの頻度で健康診断をうけさせるか判断します。

7・8歳を過ぎたら半年～1年に1回

シニア期にさしかかると病気にかかりやすくなったり衰えが見え始めたりしますので、

健康診断の頻度を上げることを考えた方が良いかもしれません。

3ヶ月に1回が人間の1年に1回に相当します。

しかしこれも上記でお話したように外出に対する拒否反応や
ストレスが多い場合には、慎重に判断しましょう。

この時期になって又は具合が悪くなって初めて動物病院を訪れて
怖い思いをさせる事の無いよう、

普段の時にかかりつけの獣医さんを見つけ飼主さん・ペット・獣医さんのチームが
対応に慣れていると安心です。

